



## 形原商店街振興組合



キャッチフレーズ

### 女性パワーで街を元気に

#### 事業実施の背景

形原商店街は、蒲郡市の南西に位置し、名鉄蒲郡線形原駅を中心とした約 100 店からなる商店街で、広範囲に店舗が点在しており、組合として活動しにくい状況にある。

平成 12 年 9 月、蒲郡市の商人塾を受講した女性 3 人が「マイマイ倶楽部（やるまい、楽しむまい、考えまい）（ ）」を作り、自分たちでできる活動を始めたのがきっかけで、女性部「形原レディースサークル」が発足し、様々な活動を行っている。

（ ）やるまい、楽しむまい、考えまい：三河弁で「やろう、楽しもう、考えよう」の意味

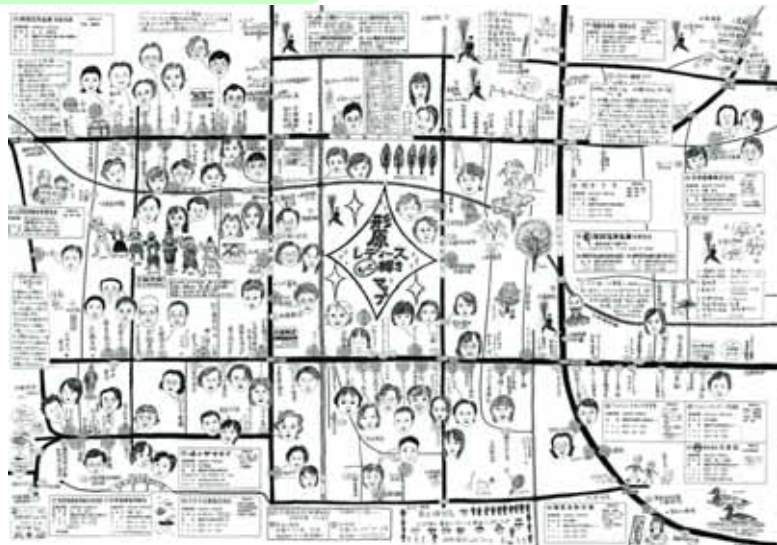
#### 事業の概要

形原レディースサークルのメンバー 11 人が中心となり、「店にいてもできるイベント」「手作りでお金を掛けずにできるイベント」「地域住民に参加してもらおうイベント」という 3 つのモットーを大切に、女性ならではの発想とおもてなしの心で、アイデアと継続性にあふれる事業を実施している。

また、イベント中に店主らの特技を活かした手作り講習会を実施するなど、住民参加も促している。他にも、地場産業のロープを使った手筒花火型の手作りグッズの販売を行っている。

#### 形原レディースもっと輝きマップ

形原商店街の紹介と、おかみさんや店主らの似顔絵を合わせて描いたマップ。平成 16 年全国商店街振興組合連合会主催のチラシコンテストにおいて全国 1 位を受賞した。この似顔絵は毎月発行の「レディース通信」にも載せており、店主の顔と店の看板との結びつきを目指している。



<形原レディースもっと輝きマップ>

## 季節に合わせた行催事



<抹茶やお菓子でおもてなし“おかみさん茶屋”> <ひな祭りロード>

<お店独自の油菓子>

- ・ ひな祭りロード（3月頃）

約1ヶ月間にわたり各店舗にお雛様を飾り、街を回遊してもらう。そのうち2日間に各店舗を訪れた人には、この地域で古くからあった「おふるまい」という風習にならい、その店独自の手作り「油菓子」をふるまう。店によって味や形が異なるため、好評である。

- ・ 雨の日「雨期・雨期」キャンペーン（6月）

形原温泉のあじさい祭りに合わせ、雨の日の販促のため、各店舗で割引サービスなどを行う。

- ・ 七夕祭り（7月）

店内の七夕飾りに、来店客の願い事を短冊に書いてもらい飾り付ける。その短冊の中から1枚、市長に選んでもらい、景品を贈る。

- ・ お月見の会（10月）

各店舗に飾った月見団子は何個あるのかを数える「だんごラリー」や、お客さんにモデルとして参加してもらう和洋ファッションショーを行う。「おかみさん茶屋」も出店。

- ・ クリスマスツリー（12月）

各店舗に飾られたクリスマスツリーに、抽選くじを飾りつけ、来店客に引いてもらう。

### 事業の効果

- ・ 事業開始から5年経った今、各事業の知名度も上がっており、確実に来街者が増えている。特に「ひな祭りロード」は盛況で、開催期間中には約1,000人を集客する。油菓子にも人気が出ており、当初2kg用意していた油菓子用の粉を、最近では10kgに増やした店もある程。
- ・ 飲食店や和菓子店などでは売り上げが大きく伸びているところもある。

### 事業の課題

- ・ 来街者にお金を消費してもらう仕掛けづくり。
- ・ 店が点在しているので回遊性をアップさせる工夫。
- ・ 形原レディースサークルのメンバーに生鮮食品を取り扱う会員をつくること。

## 形原商店街振興組合

所在地：蒲都市（名鉄蒲郡線形原駅周辺）  
 問合せ先：副理事長兼女性部部长 小林房子  
 電話（0533）57-2446

URL：<http://www.sangyou.nrc.gamagori.aichi.jp/gamag/>  
 蒲都市元気商店街（がまぐねっと）

